

1987年11月13日

まい し きん よう び
毎週金曜日

よる じ ち じ
夜七時より

し みん かん さん かい
市民館三階

・釜ヶ崎夜間学校

みんなで つくろう

みんなの 会館

三人よれば何とかの知恵

夜間学校ニュース

釜ヶ崎に生きる

我が人生を語るに参加を!

先週の夜間学校ニュース

のオモテでは、その前の週

に仲間からの質問(二)

ビラのオモテ書いてあるの、

労働者やな(?)に答えて、

年になり、最初、セントー

で現金仕事、そして、直行

の方をし、現在は鉄筋や

メシをくつて、自分を紹介をした。

その夜の夜間学校では、
Yナヘンの話を聞いた。(Yナヘン)

Yナヘンは四国の出身で、

若11とさかの大工さん、

一時、東京で仮ワク大工をして、

町ヤの大工をして、

西成区萩之茶屋2の8の9旅路の里氣付釜ヶ崎夜間学校

本籍自転大阪府堺市南花田町1-1-2、住所自転西成区萩之茶屋2-1-3-1-2

簡宿ロイヤル601号室、氏名

松井幸太郎、78歳の男子、

遺留品男物腕時計貯金

現金二万三千三百円

右の者は、昭和59年元月

8日午後3時ごろ、大阪市

西成区萩之茶屋2-1-3-1-5

簡宿ロイヤル601号室にて発見

見られたもので、同年1月

中旬ごろ(推定)同一にお

いて死(死因不詳)した

仲間の死

その10

その本籍、住所、年齢

不詳、50歳位の男子、

身長157cm、着衣上衣作

業服青色、灰色替ズボ

ン、遺留品腕時計1

個

右の者は、昭和58年

11月4日午後10時ごろ、

西成区萩之茶屋2-1-7

1-3簡宿市ワイトハウ

ス7階703号室にて発見

死亡したもので、同日午

前ス時ごろ同所に

て大葉性肺炎のため死

亡したものと思われる。

身柄引取人不明につき検死の

うえ火葬にふした。

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を

1987年11月13日

西成区萩之茶屋2の8の9旅路の里氣付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

マが左かつたといふ。

それといくのも、町やの大工は、棟上げなどの儀式や、施主の、いー仕事をしてもらいたい一心でのキゲンとなりなごで酒を食ふ機会が多かつたからだそうだ。

方々にツケのきく店もあり、

勘定日にはツケを払つてパ

アーティックも多かつた

ようだ。

金と縁ができるのは、高額から動物園前までの直通の地下鉄が開通してから。

「そんまでも来たことはあ

よそうだが

なんせ若い時だから、地

下鉄に乗つて駅前に遊びに

きて、お女郎さんのハシゴもしたさうだ。

駅前に遊びにきたある日、

深酔して、(多分路上)

朝、あきると、カタが痛くてたまらなかつた。病院に行くとヒビが入つていると

いう。なけなしの金で治療費を払つたあと、西成署に相談に行くと、市更相を紹介され、市更相から一時保護所へ入つた。

親方のところへすぐ帰ら

なかつたのは、帰つても仕事ができるのはハッキリ

していいので、ケガと弁当

は自分持ちの業界のこと、直つてから帰るしかなかつたから。

だから。

一ヶ月以上して親方のと

ころへ行くと、連絡をして

なかつたこともあって、道

具を処分されていたさうだ。

施設に居るときに金ヶ崎の色々友こと、手帳のこと

の後はずうつと金で付く氣になつた。

たとうだ。

現在は、通のせいか、身体の調子があまりよくなく、彼ワク大工でバリバリ仕事をするのはシンドイ状態にあるが、仲間と共に、金

原発の補修の仕事をしたことのある仲間、話をきかせてくまさせぐ

誰のばんかな?

さて、わが人生を語る、今夜は

金ヶ崎でよりよく生きていく道はないかと考え続けていく。

る。

それまで「暴動」のたびに対策が検討、立案された。五度目

の「暴動」の後も、今まで同様に対策が取りざたされたが、

國・府・市が抜本的対策をとら

う。画的用語の統一は、そ

の引用部分以外に、二万所も

「あいりん地区」の名称が使わ

れていた。しかし私は、私の住

む日雇い労働者の街のことと言

い表すのに「あいりん地区」を使

うべきではなく、「金ヶ崎」を

使うべきだと言い続いている。

たぶん係の方が、拙文を少

しでも読みよいものにしようと

の善意で、「あいりん地区」に統一されたものと思う。だが、

名称の使い方一つにしても、使

うものの立場をあらわすもので

ある。朝日新聞社連続襲撃事件

六一年(昭和三十六年)八月以

降五度目とされる「暴動」であ

の地名と併せて水崎町と改称

された。今宮村に残つた金ヶ崎

の南部分は、今宮村が今宮町と

なつた後、「九三二年(大正一

年)に、甲岸・東入船・西入

船と分割・改称され、この時か

ら「金ヶ崎」は「地図にない

街」となつた。だが、「金ヶ

崎」は、「あいりん地区」のよ

うに意図的につくられたもので

抑え込まれることが即座に実行でき

る唯一の対策として浮かび上

がることとなつた。警察の力で

「問題」を抑え込む決意を示

すために、名称の変更が持ち出

されたのである。この経緯から

崎の労働者に対する差別は存

する。その差別は、単に名称を

して、「あいりん地区」という

のは、差別・抑圧の名称という

ことができると思う。

一方「金ヶ崎」というのは、

とする意見もある。確かに金ヶ

崎の労働者に対する差別は存在

する。その差別は、単に名称を

改めることでなくなるものでは

なく、差別される側の諸問題が

解決し、差別する側が変わつて

こそなくなるものである。「あ

いりん地区」との対比でいえば、その表現の日まで「金ヶ崎」は使われ続けるべきだと考

えた。

大阪市松繁逸夫

(日雇い・鉄筋工 37歳)